

化粧品分野へ価値あるソリューション提案を目指し、 『Sanyo Skin Coffret』プロジェクト始動

三洋化成工業株式会社
(証券コード 4471)

三洋化成工業株式会社(本社:京都市東山区、社長:安藤孝夫)は、化粧品業界向けの事業を強化するため、女性統括リーダーが率いる全社横断型の社長直轄プロジェクト『Sanyo Skin Coffret』プロジェクトを開始しましたのでお知らせします。

実際の購買層である女性目線を重視し、統括リーダーとして女性の当該分野の専門家を起用し、メンバーの半数を女性で構成しました。『Coffret』はフランス語で小箱という意味です。宝石箱のように、安心して価値のある化粧品をつくるためのソリューションをたくさん詰めて届けたいという思いを込めました。

当社は、界面制御技術をはじめとしたさまざまなコア技術と、価値・ニーズを機能に、機能から物性に、物性から組成や合成プロセスに合理的に最短ルートで翻訳する開発スタイルを強みとし、これまでに多様な分野で活躍する3,000以上の機能性化学品を開発してきました。

『Sanyo Skin Coffret』プロジェクトは、当社が保有する技術を総合的に融合・強化することで、主にスキンケアを中心とする化粧品分野への新たな価値を提案することを目的に発足しました。これまで、それぞれの専門部隊が個別のニーズに対応する製品開発を行ってきましたが、化粧品分野に限らず、他分野で活躍する既存技術を含めて応用展開することで、化粧品分野で今までにない新しい価値の創出に貢献することを目指しています。

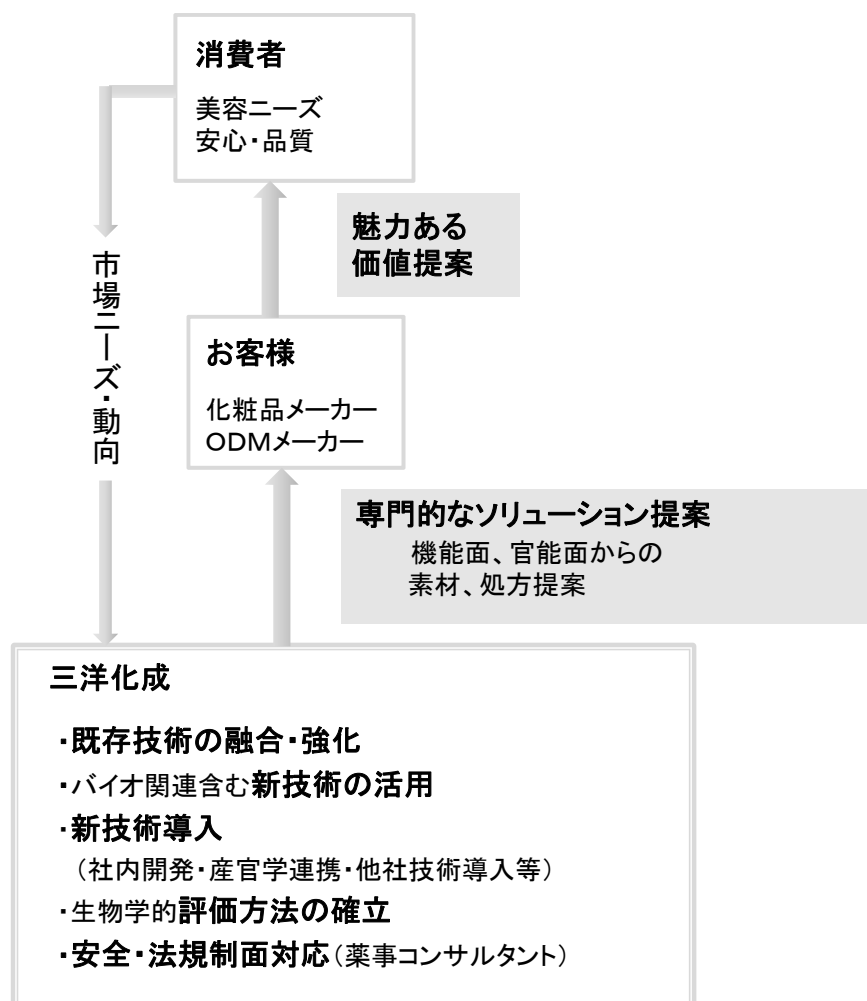
当社は界面制御をはじめ、粘度制御、pH 制御、微粒子製造などさまざまなコア技術を保有しています。また、バイオ関連分野でも、ヒト皮膚の構成成分であるエラスチンを構造に持つシルクエラスチンなど、有望な新規技術を開発中です。

本プロジェクトでは、当社保有技術の市場優位性を確認するとともに、市場トレンド・ニーズを独自に翻訳し、必要に応じて技術の融合・強化、さらには新規技術を導入することにより、保湿や乳化などといった機能に加え、しっとり、さらさらといった官能面での提案など、総合的に魅力的なソリューション(素材・処方)を提案していきます。

本プロジェクトは、初期段階は、より迅速な意思決定と戦略立案のため、選抜メンバーにより市場価値の確認、マーケティング、テーマの具体化等を行います。随時既存の専門部隊との連携を行い、さらには産官学連携なども視野に段階的に規模を拡大させる予定です。プロジェクト設置期間は2018年5月から2021年3月です。

<参考>

『Sanyo Skin Coffret』プロジェクトの概要



<本件に関するお問い合わせ先>

三洋化成工業株式会社 広報部

電話 075-541-4312